

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2009-118163(P2009-118163A)  
 【公開日】平成21年5月28日 (2009.5.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-021  
 【出願番号】特願2007-288759(P2007-288759)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/15 (2006.01)

H 0 4 W 16/26 (2009.01)

H 0 4 W 52/04 (2009.01)

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 B 7/15 Z

H 0 4 B 7/26 A

H 0 4 B 7/26 1 0 2

H 0 4 B 7/26 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年10月29日 (2010.10.29)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

受信した信号の出力を調整し、外部からの電波が遮蔽された電波遮蔽空間内に電波を送信する送信機と、前記送信機から送信される電波を前記電波遮蔽空間内で受信する受信機とを備える無線中継システムであって、

前記受信機は、

前記受信機の設置位置における前記送信機が送信した電波の強度を検知する電波強度検知手段と、

前記検知した電波の強度を、前記送信機に通知する電波強度通知手段と、を有し、

前記送信機は、

前記受信機から通知された電波の強度を基に、送信する電波の出力特性を前記受信機の受信状態が所望の状態となるように制御する出力調整手段と、

を有することを特徴とする無線中継システム。

【請求項 2】

請求項 1 の無線中継システムにおいて、

前記出力調整手段は、送信する電波の送信電力を制御するか、

前記出力調整手段は、送信する電波の指向性を調整するか、

前記送信機は、複数地点に配置されているか、

前記送信機は、前記受信機として機能可能であって、複数地点に配置された前記送信機のうち、いずれかを一時的に前記受信機として機能させるか、

複数の地点に配された前記送信機のうち、前記閉空間の出口近傍に設置された送信機の指向特性を、別の送信機から出力された電波が前記閉空間の出口から漏れる強さを弱める特性とするか、

の少なくとも一方を特徴とする無線中継システム。